

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年3月2日（木） 16：30～20：00
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ

技術基盤課 佐々木企画調整官、今瀬専門職、篠田係長  
システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官、河野主任技術研究調査官

原子力規制部

原子力規制企画課 藤森企画調査官、斎藤課長補佐、望月専門職、佐藤係長  
審査グループ実用炉審査部門 塚部上席安全審査官、藤川安全審査官  
検査グループ検査監督総括課 村上課長補佐  
実用炉監視部門 菊川管理官補佐  
専門検査部門 上田企画調査官、宮崎企画調査官、森田上席原子力専門  
検査官

原子力エネルギー協議会 事務局長 他 11 名

東京電力株式会社 原子力耐震技術センター土木耐震G グループマネージャー 他1名  
中部電力株式会社 原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 課長  
関西電力株式会社 原子力本部 保全計画グループ マネージャー 他7名  
四国電力株式会社 原子力本部 土木建築部 地盤耐震グループ リーダー 他4名  
日本原子力発電所株式会社 発電管理室 設備管理グループ 課長 他2名  
九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部 副本部長 他5名  
リサイクル燃料貯蔵株式会社 貯蔵保全部 土木・建築 担当 他2名  
日本原燃株式会社 再処理事業部 副事業部長 他2名  
三菱重工業株式会社 総合研究所 主席 他1名

5. 要旨：

- ATENA から、第6回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チームでの議論を踏まえ直近に工事・検査を行う予定である川内原子力発電所1号機の工事、検査への対応について説明があった。
- 規制庁から、事業者の自主検査やATENAの取組及び運用面等について、整理するよう申し伝えた。

- ATENA から、対応する旨、発言があった。
- 事業者等から、資料 2 に基づいて各施設の設置許可審査の進捗状況と現時点での今後の見通しについて説明を受けた。
- 原子力規制庁は、各施設の現在の状況及び今後の見通しを把握したうえで、引き続き、定期的に状況等を確認していく旨伝えた。
- 事業者等から、資料 3 により、コンクリート構造物のコア抜き点検（運転開始 30 年目、40 年目、50 年目の高経年化技術評価におけるコアサンプリング等による点検項目）の内容について説明があった。
- 原子力規制庁より、30 年目のコンクリートコア抜きの実施理由について確認したところ、30 年目の高経年化技術評価において、必要なデータを取得する必要があるため、事業者毎に必要な箇所のコア抜きを実施しているとの説明があった。
- ATENA から、資料 4 に基づき、PWR 1 次系ステンレス鋼配管粒界割れの知見拡充に係る取組について、2 月 9 日に開催された外部専門家会議の結果の説明を受けた。
- 規制庁から、上記を踏まえた ATENA の取組について、必要に応じ、公開の場で聴取する旨、申し伝えた。
- ATENA から、対応する旨、発言があった。

6. 配布資料：

- 資料 1 川内原子力発電所 1 号機デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策に係る工事への対応について
- 資料 2 標準応答スペクトルに係る対応状況について
- 資料 3 特別点検のうちコンクリート構造物のコアサンプリング他について
- 資料 4 PWR1 次系 SUS 配管粒界割れ亀裂発生メカニズム/亀裂有り健全性評価に関する研究計画全体工程と 2022 年度実施事項について

以上